

兵庫県保険医協会
G7神戸保健大臣会合記念企画 市民公開シンポジウムのご案内

国民皆保険制度の 意義と今後の展望

—医学・医療の発展と営利産業化—

■日時 10月2日(日) 14時～ ■会場 兵庫県保険医協会会議室

今回、G7神戸保健大臣会合に合わせて、神戸市は「各国の担当大臣に、会合の中で神戸医療産業都市の主要施設を視察していただきたい」などとしています。しかし、神戸医療産業都市では、市民の貴重な医療資源である中央市民病院を先端医療研究施設のバックアップ病院、臨床研究に参加する患者の提供元病院として利用しています。そうした中、主要施設のひとつ神戸国際フロンティアメディカルセンター病院では、移植医療を取り巻く国際情勢の変化を見誤り、急性に結果を求めたためか、生体肝移植による死亡事例が多発し、多くの専門家から体制の不備や適応判断の誤りなどが指摘され経営破たんに至りました。こうした負の側面を総括することなく、各国の保健行政の責任者に神戸医療産業都市を宣伝することには問題があります。私たち兵庫県保険医協会では、これまで日本の医療関係者と国民が育んできた国民皆保険制度の意義とそれに逆行する医療の営利産業化などの問題点を広く知ってもらおうと今回のシンポジウムを企画しました。



14:00～14:40 基調講演①
いのち
生命輝かそう兵庫県民
—国民皆保険と憲法9条は世界文化遺産
(平和で健康であってこそ)

講師： 邊見 公雄 先生 (写真左)
(全国自治体病院協議会会長)

14:40～15:20 基調講演②
科学・技術革命の真ただ中であって
—科学とビジネスの狭間で

講師： 福島 雅典 先生 (写真右)
(先端医療振興財団臨床研究情報センターセンター長)



15:20～15:40 報告
「神戸医療産業都市」

報告者： 武村 義人 先生
(全国保険医団体連合会副会長)

15:40～16:40
シンポジウム

パネリスト： 邊見公雄先生 福島雅典先生
武村義人先生

お申し込み、お問い合わせは兵庫県保険医協会 (TEL 078 - 393 - 1807) 平田・栗山まで

参加申込 FAX 078 - 393 - 1820

参加申込は下記にご記入の上、兵庫県保険医協会までFAX送信下さい。

■市民公開シンポジウムに () 人参加します

氏名

☎

市民公開のため先着順となります。早めにお申し込みください。

講師・報告者紹介

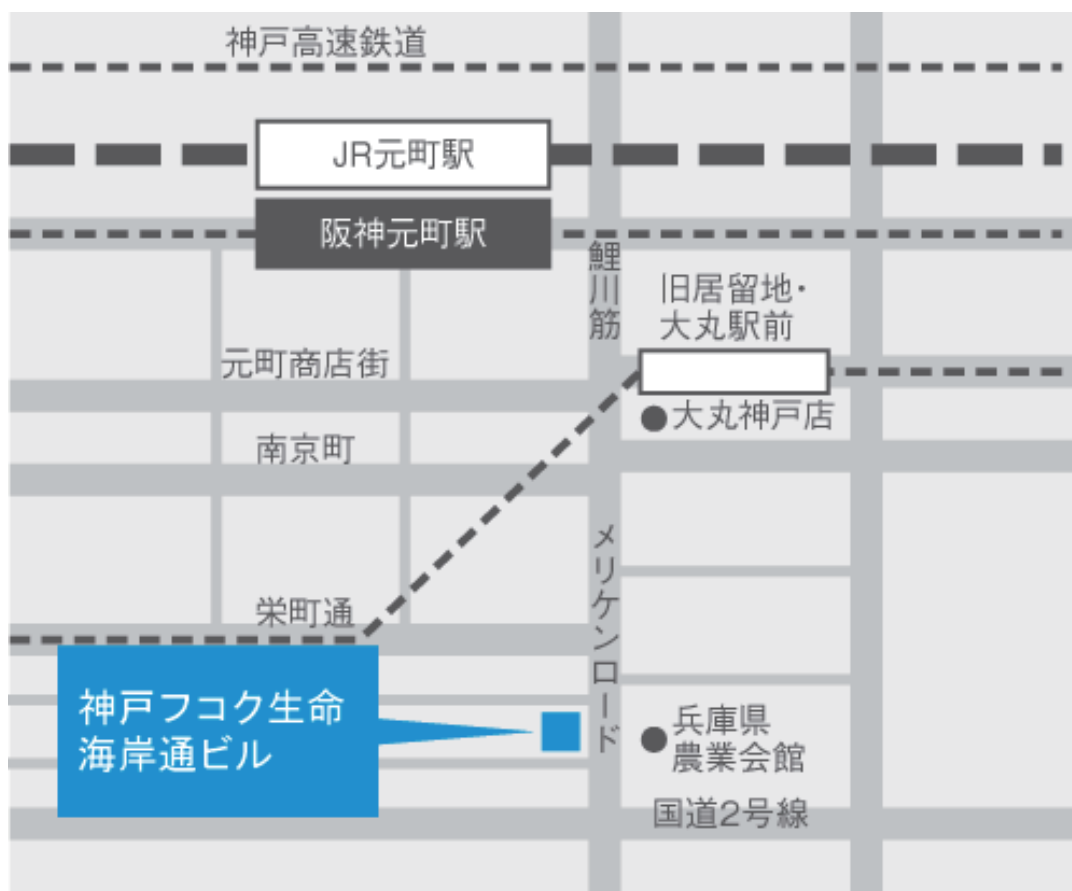
邊見 公雄 先生

1944年生。1968年京都大学医学部卒。1987年赤穂市民病院院長、2009年4月より同病院名誉院長。全国自治体病院協議会会長、全国公私病院連盟副会長。2005年9月から2011年10月まで中央社会保険医療協議会委員他、国・県・自治体など多数の役職を兼任

福島 雅典 先生

1948年生。1973年名古屋大学医学部卒業。名古屋第二赤十字病院、京都大学大学院、浜松医科大学助手、愛知県がんセンターを経て、2000年より京都大学大学院医学研究科教授。2009年4月から現職、京都大学名誉教授。愛知県保険医協会会員

会場アクセス



(元町駅東口から南 徒歩 10分、兵庫県農業会館向かい)

兵庫県保険医協会

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1丁目2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5階